取扱説明書

LGデジタルサイネージ
（モニターサイネージ）

このたびはLGサイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

86BH5F

www.lg.com/jp

Copyright © 2020 LG Electronics Inc. All Rights Reserved。

目次

安全上のご注意 3
- ACアダプターと電源に関するご注意 4
- 本製品を移動する際の注意.....6
- 本製品設置の際の注意.....7
- 製品のお手入れに関する注意事項 9
- 本製品使用の際の注意.....10
- リモコンを使用するときの注意事項 12
- 残像が発生するときの注意事項 13
- 本製品の廃棄 13

組み立てと準備 14
- オプション部品 15
- 各部名称とボタン.....16
- 外部機器のセットアップ.....16
  IRレシーバー
- ポートレートレイアウト.....17
- 設置前に側面のプラスチック保護フィルムを剥がす 17
- 壁への取り付け.....19

リモコン 20

接続 22
- PCへの接続 22
- 外部機器接続 22
- 複数モニターの接続.....24
- 入力選択の使用.....25

トラブルシューティング..... 26

製品仕様 29

ライセンス 35

保証とアフターサービス..... 36

警告 - この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI－A

安全上のご注意

安全上のご注意は、お客様が製品を本来の用途のために安全にご使用されるお手伝いをし、予期しない危険や不都合が生じないようにすることを目的としています。

⚠ 警告

警告に従わない場合、重大な負傷もしくは死亡するおそれや、重大な事故が発生するおそれがあります。

⚠ 注意

注意に従わない場合、負傷したり、製品が破損するおそれがあります。

⚠ 警告

屋内専用です。

ACアダプターと電源に関するご注意

⚠ 警告

- LG Electronics, Incにより提供または承認される電源コードやACアダプターのみ使用してください。付属品以外の電源コードを使用する場合は、国の基準ををご確認ください。電源コードに何らかの異常が見られる場合は、速やかに使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- 製品仕様に記載される定格電力に合致するコンセントに接続してください。
  - 本製品の故障、火災、感電につながるおそれがあります。接続するコンセントの定格電力が不明の場合は、設置業者または、販売元にご相談ください。
- 必ず電源コードをアース付きコンセントに接続してください。
  - 感電、負傷、本製品の破損につながるおそれがあります。
- 電源プラグまたはACアダプターが緩まないように、しっかりと挿入してください。
  - 接続不良は、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 落雷時は電源コードや信号ケーブルに触れないでください。
  - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- 電源コードやACアダプターの上に乗ったり、重いもの（家電製品、衣類など）を乗せないでください。また、電源コートまたはACアダプターを曲げたり、過度の力で引き抜いたりしないでください。
  - 電源コードの破損、断線により、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 傷の入った電源コードまたはACアダプターをコンセントに接続しないでください。
  - 感電するおそれがあります。
- 電源コードの一端がコンセントに接続されているとき、電気を通しやすいもの（クリップなどの金属製品）でもう一端に触れないでください。また、電源コードを取り外した直後に触れないでください。
  - 感電するおそれがあります。
- アース接続されているときに装置する場合は、接地接続は必ず、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。
- マルチタップを使用する場合は、電気製品を多数接続しないでください。また、消費電力の大きな製品（電熱器や電気ストーブなど)を同じタップに接続しないでください。
  - 異常発熱により火災が発生するおそれがあります。

- 本製品の内部に水分や異物が混入した場合、すみやかに電源コードを抜いてカスタマーセンターにご相談ください。
  - 本製品が損傷し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードまたはACアダプターを加熱装置から離してください。
  - コードの被膜が溶けて、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードやACアダプターを分解、修理、改造しないでください。
  - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 主電源遮断装置は電源コードであり、いつでも抜き差しできるコンセントの近くに本製品を設置してください。
- 本製品はACコンセントに接続されているかぎり、電源をオフにしても、AC電源からは切断されません。
- 電源プラグを外した場合のみ、消費電力が「0（ゼロ）」になります。
- 断路装置として、電源接続器を使用してください。

⚠ 注意

- コンセント、電源プラグのピン、ACアダプターにホコリや異物が付着している場合は、拭き取り、清潔な状態で使用してください。
  - 付着物が過熱して、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- コンセント、電源プラグのピン、ACアダプターに水がかかった場合は、拭き取り、清潔にな状態で使用してください。また、濡れた手で電源プラグやACアダプターに触れないでください。
  - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- 電源コードの抜き差しで電源のオン、オフをしないでください。電源プラグをスイッチ代わりに使用しないでください。
- 感電や製品の誤作動の原因となるおそれがあります。
- 本製品の使用中にコンセントから電源コードを抜かないでください。
  - 感電または製品が故障するおそれがあります。

本製品を移動する際の注意

⚠ 警告

- 本製品を移動する際は、お求めになった販売代理店または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
  - 感電や製品の破損の原因となる恐れがあります。
- 本製品を移動する前に、電源がオフになっていること、電源ケーブルとその他すべてのケーブルが取り外してあることを確認してください。
  - 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 本製品を移動するときは、筐体や液晶パネルに衝撃を与えないでください。
- 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 製品を運ぶ際は、一人当たり25kg以下とし、重量に合わせた人数で作業してください。また、100kgを超える製品は、機器を使用してください。
  - 製品が損傷している場合は、カスタマーセンターにご相談ください。感電または火災の原因となる恐れがありますので、使用しないでください。
- スタンドだけを持って製品を逆さまにしないでください。（スタンド対応モデルの場合のみ。）
  - 製品が落下し、損傷するおそれがあります。また、火傷につながる恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品の輸送時は破損を防ぐため、本製品の梱包箱や緩衝材を使用することをお勧めします。製品を運搬する際、この梱包箱を使用できます。

本製品設置の際の注意

⚠ 警告

- 本製品を設置する前に、カスタマーセンターにご相談ください。
  - 感電や製品の損傷の原因となる恐れがあります。
- 本製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。本製品をお子様の手の届かないところに保管してください、また、画面に物が投げられないよう、本製品の近くにおもちゃや物を置かないでください。
  - 本製品の破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 重い物と置いたり、ぶら下がるなど荷重をかけないようにしてください。
  - 本製品が倒れたり、落下により負傷するおそれがあります。
- 使用中または、使用直後は本製品が熱くなっている場合があるので、直接触れないでください。
  - 火傷につながる恐れがあります。
- 風や地震など外部からの衝撃に耐えられるよう、壁や床などへの設置はしっかりと動かないようにしてください。
  - 付属のマニュアルを必ず参照してください。
- お子様が本製品に登ったり、ぶら下がるなど荷重をかけないように指導してください。
  - 本製品が倒れたり、落下により負傷するおそれがあります。
- 電気ヒーターまたは照明器具など発熱する物の近くに設置しないでください。
  - 火災、感電、誤動作の原因となるおそれがあります。
- ご自分で本製品を設置しないでください。怪我または製品の損傷のおそれがあります。カスタマーセンターまたは製品を購入した小売店にご相談ください。
- オイルや油煙に曝される可能性のある壁に、本製品を設置しないでください。
  - 本製品の損傷または故障の原因になる可能性があります。
- 電源コードや信号ケーブルを人が通る場所に放置しないでください。
  - 人がつまづいたり、転倒したり、怪我をする危険があります。感電、火災、本製品の故障につながる恐れがあります。
- 接続するケーブルは短いものを使用しないでください。
  - 本製品が倒れたり落下によって、破損やケガにつながるおそれがあります。
- 本製品が落下したりケースが破損した場合は、すみやかに電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
  - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品はホコリや水分のない乾燥した場所に設置してください。高温多湿な場所には設置しないでください。
  - 感電、火災、本製品の損傷の原因となるおそれがあります。
- 本製品の重量に十分耐えられる安全な場所に設置してください。
  - 強度が不足すると製品が落下する恐れがあります。
- 本製品で作業するときは、筋肉が緊張しないよう、快適で自然な姿勢を維持してください。

⚠ 注意

- 本製品は電磁干渉のない場所に設置してください。
- 推奨される条件を満たさない場所に本製品を設置すると、画質、寿命、および外観に深刻な影響が出るおそれがあります。設置する前に、お求めの販売代理店またはカスタマーセンターにご相談ください。ホコリの多い場所、油煙が発生する場所、化学物質のある場所、直射日光が当たる場所、温度が極端に高いまたは低い場所、湿度が高い場所には設置しないでください。
- 壁に設置する場合は、十分な距離（10cm以上)離して、通気性を確保してください。
  - 壁との距離が近すぎると、内部温度が上昇して、本製品の変形や故障、火災につながるおそれがあります。
- 本製品を設置する際、カーテンやテーブルクロスなどが通気口を塞がないよう注意してください。
  - 内部温度の上昇により、変形したり火災につながるおそれがあります。
- 通気性の悪い場所（本棚、クローゼットなど）や屋外に本製品を設置しないでください。クッションやカーペットの上に設置しないでください。
  - 内部温度の上昇により、製品が発火する恐れがあります。
- 本製品の荷重に耐えられる平らで安定した場所に設置してください。
  - 本製品の落下により、本製品の破損やケガを負うおそれがあります。
- 棚またはキャビネット上に本製品を設置するときは、製品の下端が前方に突き出していないことを確認してください。
  - 重心が不安定になることにより本製品が落下し、負傷または製品の損傷につながる恐れがあります。必ず製品に合うキャビネットや棚を使用してください。

製品のお手入れに関する注意事項

⚠ 警告

- 本製品は常に清潔な状態を保ってください。
  - 本製品を長期間お手入れしないと、製品にホコリや異物が付着し、火災または製品の損傷につながる恐れがあります。
- 製品内部のメンテナンスについては、カスタマーセンターにご相談ください。
  - そのまま使用すると、火災、感電、製品の損傷のおそれがあります。
- 本製品をお手入れする場合は、コンセントから電源コードを抜いて、傷をつけないように柔らかい布で拭いてください。
  - 傷がつくと、感電または画面の損傷につながる恐れがあります。
- フロントフレームを清掃するには、柔らかい布に2～4回水を吹き付け、必ず一方向に向かって拭いてください。
  - 水分が多すぎるとしみの原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- 製品または画面のお手入れは、コンセントから電源コードを抜いて、柔らかい布で拭いてください。水や洗浄液などの液体を直接本製品にかけないでください。ガラスクリーナー、消臭スプレー、殺虫剤、潤滑剤、ワックス（車、工業用）、研磨剤、揮発性溶剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使用しないでください。筐体やパネルが損傷するおそれがあります。
  - 火災、感電、本製品のパネルまたは筐体の損傷（変形、腐食、破損）の原因となるおそれがあります。

本製品使用の際の注意

⚠ 警告

- 温度や湿度が非常に高い環境で使用しないでください。
- 画面を長時間見るときは、定期的に休憩をとってください。
  - 長時間画面を見続けると眼精疲労や肩こり、視力の低下につながる恐れがあります。
- 音声を大音量または長時間出力し続けると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本製品に液体がかかったり異物が入った場合は、速やかに電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
  - コンセントから電源コードを抜かないと、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 映像が表示されない、音声が出力されないなどの異常を確認した場合は、本製品の使用を中止し、速やかに電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
  - コンセントから電源コードを抜かないと、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
  - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 本製品から煙、異臭や異音が発生した場合は、速やかにコンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
  - そのまま製品を使用し続けると、感電または火災につながる恐れがあります。
- ご自身で本製品を分解、修理、改造しないでください。改造や分解による故障は保証の対象外になります。
  - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品の上または近くに液体の入った容器や水分を含んだものを置かないでください。
- 内部に液体が混入すると、発火、感電、誤作動、または変形するおそれがあります。
- 手や爪、鉛筆、ペンなどの鋭利なもので製品の表面を強く押したり引っかいたりしないでください。金属類でパネルの前面や側面に衝撃を与えたりひっかいたりしないでください。
  - 本製品の損傷または誤動作の原因になる可能性があります。
- 本製品が直射日光または強い光に曝された場合、過熱する可能性がありますので、製品に触れないでください。

- 本製品の近くで高電圧電気製品（殺虫灯など）を使用しないでください。
  - 電気の衝撃によって、本製品が誤動作する可能性があります。
- ガス漏れがある場合は、コンセントに触れずに、窓を開けて換気してください。
  - コンセントから電源コードを抜かないと、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、筐体が破損した場合は、本製品の使用を中止し、速やかに電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
  - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。製品の使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- 付属品等小さなパーツはお子様の手の届かない場所に保管してください。
  - 子供が飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- お子様の手の届かないところに本製品を保管してください。また、おもちゃや物を製品または画面に投げつけないでください。
  - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 電源コードが接続されているときは、常に弱い電流が流れています。電源コードがコンセントに差し込んである状態では、常に微弱な電流が流れています。本製品の通電をなくすためには、電源ケーブルを抜く必要があります。

⚠ 注意

- 液晶パネルまたは有機ELパネルは、数百万ピクセルの高精度な製品です。画面の一部にドット抜け（ごく小さな白、黒、赤、青、緑などの点）が見えることがあります。これは製品上の特性であり、製品不良、故障ではありません。
- 本製品の近くに引火性の物質を置いたり、保管したりしないでください。
  - 爆発または火災が発生するおそれがあります。
- 画面を見るときは適切な距離を維持してください。
  - 本製品を近くで見すぎると、視力が低下する恐れがあります。
- 製品の適切な解像度と周波数に設定してください。
  - 視力が低下する恐れがあります。
- 長時間画面を見続ける場合は、定期的に休憩をとってください。

リモコンを使用するときの注意事項

⚠ 警告

- 湿度の高い場所を避けてください。
  - 本製品の故障や、感電につながる恐れがあります。
- 直射日光、暖炉、電気ヒーターなどの暖房機器の近くなど、高温になる場所の近くに電池を保管、放置しないでください。
  - 火災または負傷につながる恐れがあります。
- リモコンの電池交換時に、子供が電池を飲み込まないようにお気をつけください。電池は子供の手の届かない場所に保管してください。
  - 子供が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池を火の中に廃棄しないでください。
  - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に電池を廃棄してください。
- 充電式電池を含む使用済電池は、ごみとは別にリサイクルしてください。
  - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に使用済電池や充電式電池を廃棄してください。

⚠ 注意

- 電池を短絡させたり、分解したりしないでください。
  - 感電または火災の原因となる恐れがあります。
- リモコンは、直射日光や強い光が当たる場所では正常に機能しない場合があります。強い光の当たる状況下で使用する場合は、製品の位置を調整してください。
- 本製品とリモコンに間に障害物がないことを確認してください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
  - 電池の過熱や液漏により、火災や感電のおそれがあります。
- 電池は指定されたタイプのものを使用してください。充電式ではない電池を充電器に入れないでください。
  - 電池の過熱や液漏により、火災や感電のおそれがあります。

残像が発生するときの注意事項

- 静止画像を長時間表示したままにしておくと、画面が焼き付き、残像が発生する場合があります。これは、液晶パネルまたは有機ELパネルの特性であり、焼き付きについては保証の対象外となります。焼き付きが起こらないよう、静止画を長時間表示させないでください。
  - スクリーンセーバーを使用するなど、定期的に違う映像を表示させてください。

本製品の廃棄

- 本製品を一般家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。
- 本製品の廃棄は、地方自治体の規制に従い行ってください。

組み立てと準備

⚠ 注意

- 本製品を安全にお使いいただくため、付属品または弊社が認定した部品を使用してください。
- 付属品以外の部品の使用により発生した製品の故障、破損、負傷、事故は保証の対象外になります。

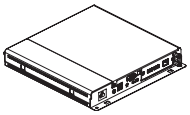
ヒント

- 製品の付属品はモデルや地域によって異なります。
- 製品仕様または取扱説明書の内容は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
- SuperSignソフトウェアおよびマニュアル
  - LG ElectronicsのWebサイトからのダウンロード。
  - LG ElectronicsのWebサイト（*http://partner.lge.com*）にアクセスし、お使いのモデルに合った最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
- 本製品を極端にほこりの多い場所で使用することで発生した故障や破損は、保証の対象外になります。

オプション部品

本製品の品質向上のため、オプション部品は予告なく変更または追加されることがあります。実際の製品および付属品の外見は、本書のイラストと異なることがあります。

メディアプレーヤーキット



メディアプレーヤー
MP500/MP700

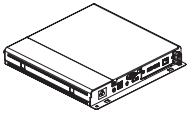


ネジ
直径3.0 mm x ピッチ0.5 mm x 長さ 6.0 mm



CD（取扱説明書）/ カード

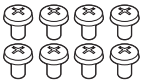
OPSキット



KT−OPSF



ネジ
直径3.0 mm x ピッチ1.27 mm x 長さ 8.0 mm



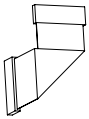
ネジ
直径3.0 mm x ピッチ0.5 mm x 長さ 5.5 mm



カード（簡単セットアップガイド）



電源コード



接続ケーブル

ヒント

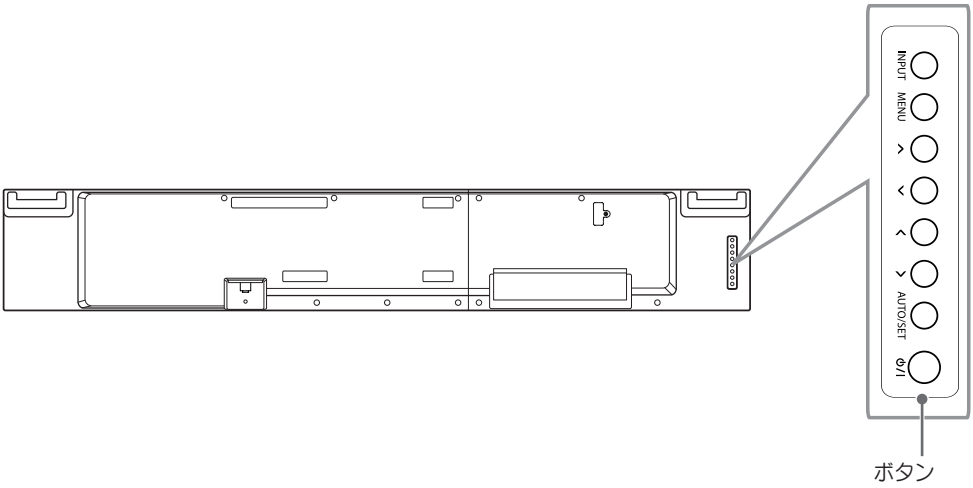
- オプション部品は、必要に応じて別途購入してください。お求めの際は、製品を購入した販売元にご相談ください。
- OPSキットやメディアプレーヤーを取り付ける前に、ケーブルをポートに接続します。

注意

- KT−OPSFのモニターへの取り付けと取り外しの際は、事前にモニターおよびKT−OPSFに接続している電源コードをコンセントから抜いてください。

各部名称とボタン

イラストはイメージです。モデルによって外見がイラストと異なる場合があります。



- **INPUT**：入力元を変更します。
- **MENU**：メインメニューを開いたり、設定した内容を保存してメニューを終了します。
- ∧∨：上下へ調節します。
- <>： 左右へ移動します。
- **AUTO/SET**：現在の信号およびモードを表示します。
- ⏻/I：電源のオン/オフを切り替えます。

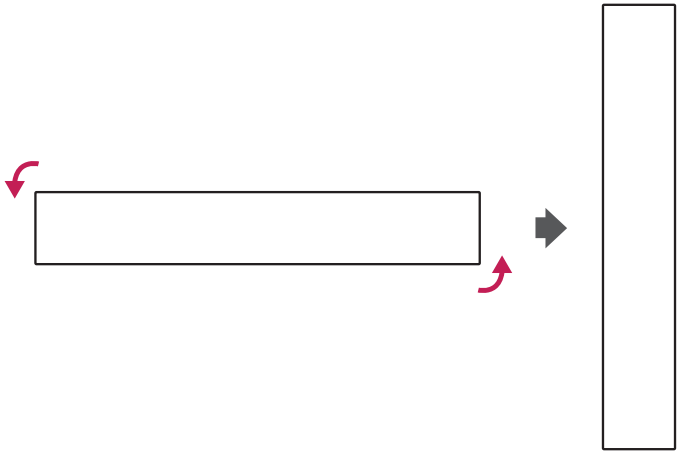
外部機器のセットアップ

IRレシーバー

IRレシーバーの使用により、リモコンセンサーをお望みの場所に設置することができます。これにより、本製品はRS−232Cケーブルを接続することで別のモニターも操作することができます。

ポートレートレイアウト

ポートレートレイアウトで設置する場合、モニターを（画面に向かって）反時計回りに90度回転させます。



設置前に側面のプラスチック保護フィルムを剥がす

製品を設置する前に、四隅からプラスチック保護フィルムを剥がしてください。



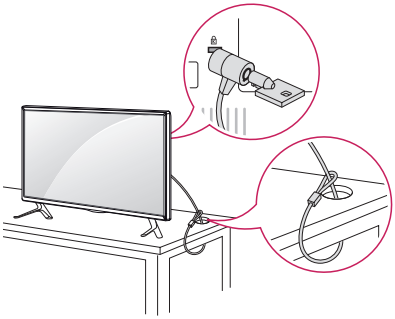
Kensingtonロックの使用

（この機能を使用できないモデルもあります。）

Kensingtonセキュリティシステムコネクターは、モニターの背面にあります。

このシステムの取り付けと使用方法の詳細については、Kensingtonセキュリティシステムに付属のマニュアルを参照するか、*http://www.kensington.com*をご覧ください。

モニターとテーブルをKensingtonセキュリティシステムケーブルでつなぎます。

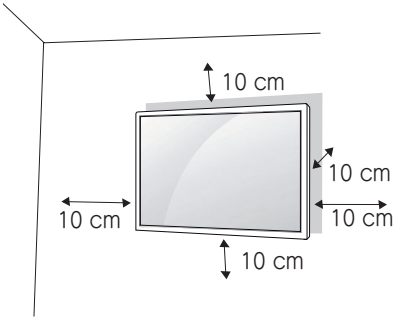


ヒント

- Kensingtonセキュリティシステムはオプション部品です。追加の付属品は主要な家電量販店で購入できます。

壁への取り付け

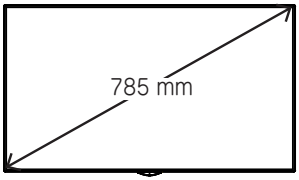
適切な通気性を確保するために、製品の上下左右および背面の壁から、10cm以上の空間を空けてください。壁掛けブラケットの取り付け、設置方法については、壁掛けブラケット付属の取扱説明書をご参照ください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け用ブラケット（別売）をモニターの背面に取り付けます。
壁掛け用ブラケットがモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

1 必ずVESA規格に適合したネジと壁掛けブラケットを使用してください。
2 規格より長いネジを使用すると、モニターの内部が破損するおそれがあります。
3 VESA規格以外のネジを使用すると、製品を損傷するおそれがあり、モニターが落下する場合があります。LG Electronicsは、規格外のネジの使用による事故や破損については保証の対象外になります。
4 下記のVESA規格に従ってください。

- 785 mm以上
  *取り付けネジ：直径8.0 mm x ピッチ1.25 mm x 長さ14 mm （最大：18 mm）

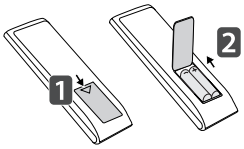


⚠ 注意

- モニターの移動または設置は、電源コードを抜いてから作業してください。そのまま作業すると感電するおそれがあります。
- モニターを天井または傾斜のある壁面に取り付けると、モニターの落下によって負傷するおそれがあります。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。過剰な締め付けによりモニターが損傷した場合は保証の対象外になります。
- 必ずVESA規格に適合するネジおよび壁掛けブラケットを使用してください。誤った設置方法や、不適切な部品の使用による事故や破損については保証の対象外になります。
- メディアプレーヤーとOPSキットを接続した状態で壁に設置する場合は、45 mm以上離してください。干渉が発生するおそれがあります。

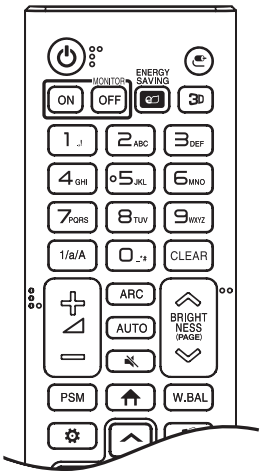
リモコン

本取扱説明書にある記述は、リモコンのボタンに基づいています。本書をよくお読みいただいて、正しい方法でモニターを使用してください。
電池を取り付けるには、電池カバーを開け、1.5 Vの単四電池を、⊕と⊖極の方向をボックス内のラベルの表示に合わせて取り付け、電池カバーを閉じます。
電池を取り外すには、取り付けと逆の手順を行います。イラストはイメージです。実際の付属品と異なることがあります。

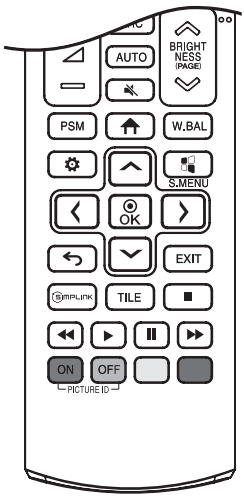


⚠ 注意

- リモコンが故障するおそれがあるので、古い電池と新しい電池は一緒に使用しないでください。
- リモコンは、必ずモニターのリモコンセンサーに向けて使用してください。
- モデルによっては、リモコンの一部の機能をサポートしていない場合があります。
- 製品の内部及び外部の電池は極端に高温な場所（直射日光のあたる場所や火など）に置かないでください。



⏻（電源）：モニターの電源のオン/オフを切り替えます。
MONITOR ON：モニターをオンにします。
MONITOR OFF：モニターをオフにします。
ENERGY SAVING：画面の明るさを調整して、消費電力を抑えます。
（入力）：入力モードを選択します。
3D：本製品は対応していません。
数字/アルファベットボタン：設定に応じて数字またはアルファベットを入力します。
1/a/A：数字とアルファベットを切り替えます。
CLEAR：入力した数字またはアルファベットを削除します。
＋ ◿ ー（音量ボタン）：音量を調整します。
ARC：画面サイズモードを選択します。
AUTO：自動的に映像の位置を調整し、揺れを最小限に抑えます（アナログ入力のみで使用可能）。
（ミュート）：音量をミュートに設定します。
∧ **BRIGHTNESS** ∨：画面の明るさを調整します。
PAGE：本製品は対応していません。



PSM：ピクチャーモードを選択します。

（ホーム）：ランチャーを起動します。

W.BAL：[ホワイトバランス]メニューが表示されます。

（設定）：メインメニューへのアクセス、入力の保存、メニューの終了に使用します。

S.MENU：本製品は対応していません。

（ナビゲーションボタン）：メニューやオプションを操作します。

：ナビゲーションボタンで選択した項目を決定します。

（戻る）：一つ前の項目に戻ります。

EXIT：すべてのOSDタスクとアプリケーションを終了します。

：本製品に接続したSIMPLINKに対応したデバイスを操作できます。

TILE：タイルモードを選択します。

PICTURE ID ON/OFF：ピクチャーIDとセットIDの番号が等しい場合に、該当のモニターをマルチディスプレイ形式で制御できます。

モデルによってはサポートされていません。

接続

本製品にはさまざまな外部デバイスを接続できます。入力モードから外部デバイスを接続した映像入力端子を選択します。外部デバイスの接続の詳細については、各デバイスに付属する取扱説明書を参照してください。

PCへの接続

一部のケーブルは別売です。このモニターは、Plug and Play*機能に対応しています。

* Plug and Play機能：PCの電源がオンになっている状態で、デバイスを接続すると、設定や操作せずにPCが自動的にデバイスを認識する機能です。

外部機器接続

一部のケーブルは別売です。HDレシーバーやブルーレイ/DVDプレーヤー、ビデオデッキなどの映像機器をモニターに接続し、接続した入力端子を選択します。

最適な映像および音声品質を得るために、HDMIケーブルを使用して外部機器とモニターを接続することをお勧めします。

ヒント

- 最適な画像品質を得るには、HDMI接続でモニターを使用することを推奨します。
- 製品の標準仕様に準拠するため、DisplayPortケーブルおよびDVI−D/HDMIケーブルには必ずフェライトコアを使用して製造された、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。
- 本製品が冷えている状態でモニターの電源をオンにすると、画面がちらつくことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
- まれに画面に小さな点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
- 高速HDMI®/™ケーブルを使用してください。（3 m未満）
- HDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。認証されていないHDMIケーブルを使用すると、画面が表示されなかったり、接続エラーを起こすことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
  - 高速HDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応高速HDMI®/™ケーブル
- HDMI接続で音声が出力されない場合は、PCの設定を確認してください。一部のPCでは、基本の音声出力をHDMIに手動で変更する必要があります。
- HDMI端子にPCを接続して使用する場合は、PC/DTVをPCモードに設定する必要があります。
- HDMI端子にPCを接続して使用すると、互換性の問題が発生することがあります。
- 各ケーブルを接続する際は、電源ケーブルが抜かれていることを確認してください。
- ゲーム機器をモニターに接続する場合は、ゲーム機器に付属するケーブルを使用してください。

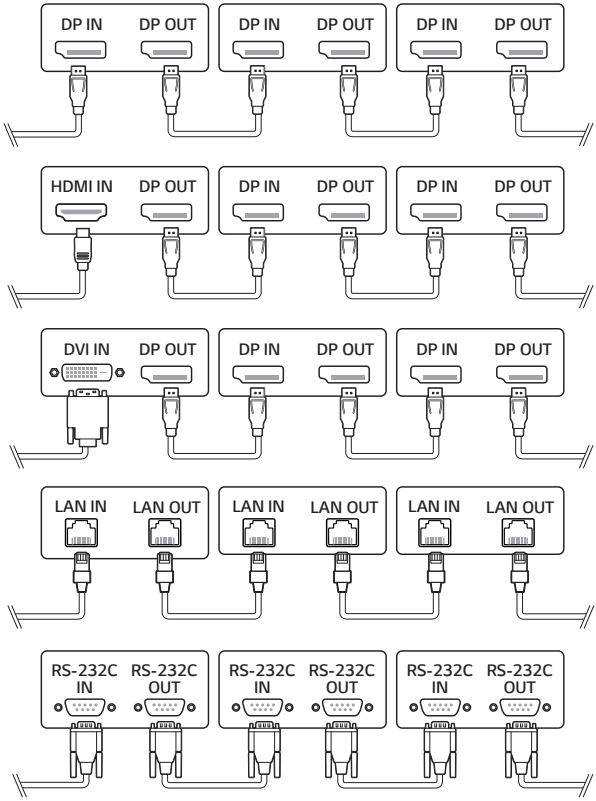
⚠ 注意

- DVI−Dケーブルを接続する場合は、信号ケーブルを取り付けたら、左右のネジを時計回りに回して、固定してください。
- 液晶パネルを指で押さないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に静止画像を長時間表示しないでください。なるべくスクリーンセーバーを使用してください。
- ワイヤレス機器がモニターの近くにある場合、映像が乱れるなどの悪影響を及ぼすことがあります。

複数モニターの接続

マルチ画面（複数のモニター）で使用するには、まず外部デバイスを本製品に接続し、対応の信号ケーブルを本製品の OUT （出力）コネクターともう一台のモニターの IN （入力）コネクターに接続します。

* DisplayPortケーブル：DisplayPort 1.1a（SST）標準以上の認定を受けたDisplayPortケーブルを使用してください。



ヒント

- 一般に、信号が安定していてケーブル損失がない場合、100台までのモニターをDP出力ポートに（推奨解像度で）接続できます。100台を超えるモニターを接続する場合は、分配器を使用することをお勧めします。
- タイルモードの構成にHDMI3/DVI－D/OPSケーブルを使用した場合、HDCP暗号化コンテンツは表示できなくなります。
- 本製品とPC間の信号ケーブルが長すぎる場合は、必ずブースターまたは光学ケーブルを使用してください。

入力選択の使用

（ホーム）➔

- HDMI1 → HDMI2 → HDMI3/OPS/DVI-D → DISPLAYPORT

トラブルシューティング

» モデルによって確認する項目は異なります。
» PC側の設定については、Windowsヘルプをご参照ください。

使用に関する問題

- 電源が入らない。
  - 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうかを確認してください。
  - ACアダプターのブレード、接合部に汚れが付着していないか確認してください。
- 正常に認識されない。
  - PC（グラフィックスカード）のドライバがインストールされているか確認してください。
  - PC（グラフィックカード）の取扱説明書を参照して、Plug and Play機能がサポートされているかどうかを確認してください。

画面に関する問題（ビデオ）

- 「信号がありません」または「形式が無効です」というメッセージが表示される。
  - 信号ケーブルが接続されているか、正しく接続されているか確認してください。
  - 機器が接続されている映像端子に設定されているか確認してください。リモコンで入力を切り替えてください。
  - PC（グラフィックカード）からの信号が、本製品の垂直周波数または水平周波数の範囲から外れていないか確認してください。本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、垂直走査周波数を設定してください。
- 画面の位置が正しくない
  - グラフィックカードの解像度と周波数がモニターでサポートされているか確認してください。周波数がサポートされている範囲を超える場合は、PCの設定を推奨の解像度に設定してください。
  - D−Subアナログ信号 − リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。
- 画面が正常に表示されない。
  - 映像出力信号に適した映像信号ケーブルを接続してください。
- 画面上の画像がちらつく、不規則に振動する。
  - 本製品が冷えている状態でモニターの電源をオンにすると、画面がちらつくことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
  - グラフィックカードが表示している解像度と垂直走査周波数（リフレッシュレート）が本製品が対応しているか確認してください。
- 背景に縞模様が表示される。
  - D−Subアナログ信号 − リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。
- 水平方向のノイズが表示されます。または、文字がぼやけています。
  - D−Subアナログ信号 − リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。
- 初期起動の場合、システム設定により、画面オン時間が遅延する可能性があります。

- PCのBIOS設定画面が正しく表示されない。
  - 一部のPCでは、グラフィックカードのドライバーを構成するまで、58：9の画面サイズはサポートされないため、BIOS設定画面が正しく表示されない可能性があります。これは製品の問題ではなく、グラフィックカードのBIOS設定画面の画面サイズの設計が問題の原因です。PCのBIOS設定画面にアクセスするには、標準画面サイズ（4：3または16：9）のモニターを接続して、BIOS設定を行ってください。

画面（色）に関する問題

- 色合いが正常に表示されない。
  - PCの色の設定を、色を24ビット（True Color）以上に設定します。
- 画面の色が不安定またはモノクロで表示される。
  - 映像信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、グラフィックカードがスロットに正しく挿入されているか確認してください。※グラフィックカードの確認をする際は必ずPC の電源をコンセントから抜いて確認してください。
- 画面上に暗い点と明るい点が表示される。
  - 液晶パネルまたは有機ELパネルは非常に高精細に作られており、画面の一部にドット抜け（ごく小さな赤、緑、青、黒などの点）が見えることがあります。これは製品不良、故障ではありません。
- 画面が暗い気がする。
  - 明るさとコントラストを調整してください。
  - バックライトの修理が必要な場合もあります。

音に関する問題

- オーディオが動作しない
  - オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。
  - 本製品または外部デバイスの音量を調整してください。
  - サウンドが適切に設定されているか確認してください。
- 音がクリアでない。
  - イコライザーの設定を調整してください。
- 音量が小さすぎる。
  - 本製品または外部デバイスの音量を調整してください。
- 一部のモデルでは、スピーカーが内蔵されていないため、個別に外部スピーカーの購入が必要となる場合があります。

その他の問題

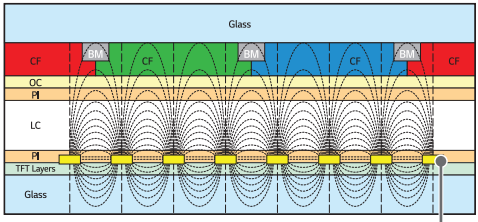
- 電源が突然オフになる。
  - 「電源オフ時間」が設定されているか確認してください。
  - 電源の障害の可能性があります。本製品の電源ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
  - 電源コントロールの設定を確認してください。

残像

- 製品の電源をオフにすると、残像が表示される。
  - 同じ画像を長期間使用していると、ピクセルがダメージを受ける可能性があります。スクリーンセーバー機能を使用してください。
  - コントラストの高い画像（黒と白またはグレー）の表示後に黒い画像が表示される場合、残像が発生する可能性があります。これは本製品の特性であり、不良や故障ではありません。
- LCDパネルが静止した画像を長時間表示した場合、液晶を動作させている電極間に電圧の差が生じる場合があります。この電圧の差が電極間で徐々に高まっていくと、液晶が一定方向に停滞する傾向が強まります。このため、直前に表示されていた画像が残ることになります。この現象を残像と呼びます。
- 常に動きのある映像を表示している場合には残像は生じませんが、静止画を長時間表示すると残像が発生する場合があります。このため静止画を表示する際は、残像を防止するために以下の注意にしたがって本製品を使用することをお勧めします。最低12時間に1度は画面を切り替えることで、残像の発生を抑えることができます。さらに頻繁に切り替えを行うことで、より効果的に防止することができます。
- 望ましい動作条件

1 背景と文字の色を一定の時間間隔で切り替える。
  - 色を切り替える際、補色（色相環で正反対になる色）を表示させることで、残像の発生をより防ぎやすくなります。





ITOまたはMoTiピクセルレイヤー

2 画像を一定の時間間隔で切り替える。
  - 切り替え前の文字や画像は、切り替え後も必ず同じ場所に表示されるようにしてください。



製品仕様

以下の製品仕様は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。

LCD画面	画面タイプ	薄膜トランジスター（TFT） 液晶表示（LCD）画面
映像信号	最大解像度	HDMI1 / HDMI2 / DisplayPort：3840 x 2160（60 Hz） HDMI3 / OPS：3840 x 2160（30 Hz） DVI−D：1920 x 1080（60 Hz） - OSまたはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。
	推奨解像度	HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / DisplayPort / OPS： 3840 x 600 @ 60 Hz DVI−D：1920 x 300（60 Hz） - OSまたはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。
	水平周波数	HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / DVI−D / DisplayPort / OPS：30 kHz～83 kHz HDMI1/ HDMI2/ DisplayPort：30 kHz～136 kHz
	垂直周波数	DVI−D：56 Hz～60 Hz HDMI / DisplayPort / OPS：58 Hz～62 Hz
	同期	セパレート同期 / デジタル
入力/出力ポート		AUDIO IN/OUT、HDMI(1) IN、HDMI(2) IN、HDMI(3) IN、 DP IN/OUT、DVI-D IN、USB 2.0 IN、IR&LIGHT SENSOR、 RS-232C IN/OUT、LAN IN/OUT、OPS
内蔵式バッテリー		適用
環境条件	動作温度 動作湿度	0 ° C～40 ° C 10 %～80 %
	保管温度 保管湿度	-20 ° C～60 ° C 5 %～85 %
音声	入力感度	0.7 Vrms

" ~ "は交流（AC）を表し、" ⎓ "は直流（DC）を表します。

		86BH5F
LCD画面	ピクセルピッチ	0.5595 mm（横）x 0.5595 mm（縦）
電源	定格電力	AC 100 V~50/60 Hz 2.4 A
	消費電力	オンモード : 220 W（標準） スリープモード : ≤ 0.5 W スタンバイモード : ≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	ヘッド	2,158.3 mm x 348.5 mm x 81.7 mm / 20.5 kg

ワイヤレスモジュール（LGSBWAC72）仕様	
ワイヤレスLAN（IEEE 802.11a/b/g/n/ac）	
使用周波数（MHz）	無線出力（dBm 以下）
2400 ～ 2483.5 5180、5190、5200、5210、5220、5230、 5240、5260、5270、5280、5290、5300、 5310、5320、5500、5510、5520、5530、 5540、5550、5560、5580、5590、5600、 5610、5620、5630、5640、5660、5670、 5680、5700	802.11a : 13 802.11b : 13.5 802.11g : 13.5 802.11n - 2.4GHz : 13.5 802.11n - 5GHz : 16.5 802.11ac - 5GHz : 15.5
Bluetooth	
使用周波数（MHz）	無線出力（dBm）
2400 ～ 2483.5	8.5

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。（This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.）



1 Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4 GHz 帯を使用しています。変調方式としてDS-SS 方式およびOFDM 方式を採用し、与干渉距離は40 m です。

2 Bluetooth

この表示のある無線機器は、2.4 GHz 帯を使用しています。変調方式としてFH-SS 方式を採用し、与干渉距離は10 m です。

＜本製品の使用上の注意事項＞

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

DVI−D / HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / DISPLAYPORT / OPS （PC）サポートモード

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	備考
800 x 600	37.879	60.317	
1024 x 768	48.363	60	
1280 x 1024	63.981	60.02	
1680 x 1050	65.29	59.954	
1920 x 1080	67.5	60	DVI−D
1920 x 300	18.75	58.777	DVI−D
3840 x 600	37.398	59.933	HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / OPS / DISPLAYPORT

HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / DISPLAYPORT / OPS （DTV）サポートモード

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	備考
480/60p	31.5	60	
576/50p	31.25	50	
720/50p	37.5	50	
720/60p	45	60	
1080/50i	28.1	50	
1080/60i	33.75	60	
1080/50p	56.25	50	
1080/60p	67.432	59.94	
1080/60p	67.5	60	
2160/30p	67.5	30	
2160/50p	112.5	50	HDMI1 / HDMI2 / DISPLAYPORT
2160/60p	135	60	HDMI1 / HDMI2 / DISPLAYPORT

マルチ画面（PC）サポートモード

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	備考	
1920 x 600	37.4	59.93	2分割画面の場合の推奨解像度	
1280 x 600	37.35	59.85	3分割画面（1：1：1）の場合の推奨解像度	
960 x 600	37.4	59.93	1番目、3番目の画面	3分割画面（1：2：1）の場合の推奨解像度
1920 x 600	37.4	59.93	2番目の画面	
960 x 600	37.4	59.93	4分割画面の場合の推奨解像度	

マルチ画面（DTV）サポートモード

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	備考
720/60p	45	60	HDTV 720p
1080/24p	27	24	HDTV 1080p 24 Hz
1080/30p	33.75	30	HDTV 1080p 30 Hz
1080/60p	67.5	60	HDTV 1080p 60 Hz

ヒント

- HDMI1 / HDMI2 / HDMI3 / DVI−D / DisplayPortをケーブルに接続すると、PC/DTVモードをオプションで選択できます。PCに接続する場合はPCモード、その他の機器に接続する場合はDTVモードを選択することをお勧めします。DTVモードとは、PC接続以外のすべての機器への接続を指します。
- 垂直走査周波数：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュ レート」と呼びます。単位はHz です。
- 水平走査周波数：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。 これを水平周波数と呼びます。単位はkHzです。
- 推奨解像度の3840 x 600を使用する場合、UHD（3840 x 2160）対応のグラフィックカードを使用してください。
- 推奨解像度（3840 x 600）をサポートしないグラフィックカードを使用している場合は、代わりに解像度1920 x 300または1920 x 1080を使用できます。
- グラフィックカードによっては、3840 x 600の解像度をサポートしていない場合があります。
- マルチ画面モードでは、解像度は画面に合わせて変化します。

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、*www.lg.com/jp*にアクセスしてください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS特許については、*http://patents.dts.com*を参照してください。DTSライセンスリミテッドからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、&DTSおよびシンボル、DTS 2.0 Channel、DTS 2.0+Digital Out、DTS-HD、DTS Virtual:Xは登録商標はDTS, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。DTS,Incは、すべての権利を保有します。

Covered by Patents at patentlist.hevcadvance.com

保証とアフターサービス

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan（株）カスタマーセンター

固定電話
0120-711-228

携帯電話・PHS
0570-200-948

IP電話などからフリーダイヤルがご利用いただけない場合は TEL：03-5675-7323までご連絡ください。
お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 9：00～18：00（ 年末年始および当社指定日を除く）

※上記の内容は予告なく変更される場合があります。お手数ですが、当社ホームページ（*www.lg.com*）をご参照ください。

製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

シリアル番号

この機器の電源をオンまたはオフにしたときの一時的なノイズは、正常な動作です。